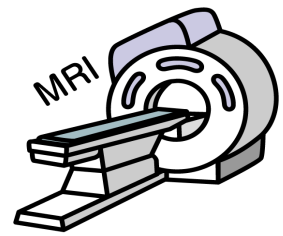


MRI（磁気共鳴画像診断）検査を受けられる方へ



MRI：（Magnetic Resonance Imaging）検査とは？

強い磁石と電波により体の中の様子をあらゆる方向から撮影します。

CT検査のようにX線を使いませんので、X線による被ばくは一切ありません。

MRIで使われる磁気や電波は、人体への悪影響はありません。

ただし、次のような方はMRIの検査を受けられないことがありますので、必ず事前にご確認をお願いします。

MRI検査が安全で有意義なものとするために以下の説明をよくお読みください

1. 検査を受けるための注意事項

ご来院時間のお願い。

- ・来院時、受付にて事務手続きを行いますので検査予約時間30分前の来院をお願いします。

次のような方は検査を受けることが出来ません。

- ・心臓ペースメーカー、人工内耳、人工中耳などの刺激電極を身につけられている方。

また次のような方は検査が受けられない場合がありますので、必ず事前にご確認ください。

- ・手術やケガにより体内に金属がある方。（動脈瘤クリップ、人工弁、人工関節、避妊リングなど）
- ・歯科用磁性アタッチメント義歯のある方。（マグフィットカード携帯者）
- ・眼に微細な金属片が入っている方。（または入っていると疑わしい）
- ・金属の義眼底の方。
- ・入れ墨のある方。（火傷をする場合があります）
- ・骨折によりボルト固定がされたままの方。
- ・妊娠中もしくは妊娠の可能性がある方。
- ・閉所恐怖症など長時間安静に出来ない方。

2. 検査室へ入るための準備

- ・化粧品には磁性体が含まれているもの（マスカラ、アイライン、アイブロウ、アイシャドウ等）があり、目の粘膜等を傷つけたりすることがあるので、出来れば付けずに来院してください。頭部、特に眼の周辺の検査の場合、お化粧を落としていただくことがあります。
- ・コンタクトレンズは材質的に金属が使われている場合がありますので、はずしてご来院いただくか、検査前にはずしていただきます。
- ・金属を身体に付けていると、画像が乱れて検査に支障をきたすだけでなく、MRI装置に金属が着いてはなれなくなり大変危険です。また、下着で、金属のワイヤーが入っているブラジャーやボディスーツ等は着用しての撮影は出来ません。

検査は検査着に着替えて行ないます。下記の内容は検査室への持込禁止ですので注意をしてください。

眼鏡/入れ歯/ピアス・イヤリング/ネックレス/ヘアピン/腕時計/鍵/
携帯電話/磁気カード/エレキバン/使い捨てカイロ/貼り薬等

3. 検査中のお願い

検査は磁石でできたドーナツ状の中で行いますが、目を閉じてリラックスして検査を受けてください。

検査時間は約20～30分位で、数分間の撮影を何回か繰り返します。この間はあおむけのまま、じっとしててください。動いてしまわれると、画像がゆがむなど診断に支障をきたす恐れもあります。

検査中は壁をたたくような大きな音が連続的にしますが、心配ありませんので静かに寝てください。

検査中は担当技師とマイクを通して会話ができますので安心してください。

4. 検査終了後は

検査終了後の安静などの必要はありません普段通りの生活を送ってください。

検査当日の食事及び水分は普段通りで構いません。お薬は、通常通り内服してください。

緊急で救急患者様の検査が入り、検査開始時間が遅れる場合があります。
また、予期せぬ機械の故障等により予約日時の変更をさせていただく場合があります。
ご迷惑をおかけいたしますが、あらかじめご了承ください。